



いばらき



CONTENTS

特集 新年のあいさつ

- ◎ 各課からのお知らせ
- ◎ タウンニュース
- ◎ 文芸、すこやかニュース
- ◎ 情報ひろば
- ◎ 里山に育む生きものたち

1

2013

新しい年、スタート!

(第42回茨城町体カづくり駅伝大会にて)

平成二十五年

謹賀新年



茨城町議会議長
小貫 和通

平成二十五年議長新年挨拶

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。町民の皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、一昨年に起こりました、東日本大震災に伴う被害と原子力事故による影響はいまだに続いている状況にあります。

当町においても、大きな被害を受けた桜丘中学校や消防庁舎の新築工事など様々な復興事業が急ピッチで進められているところですが、さらに、中央公民館も使用できない状況となり、現在、町において文化的施設の建設に向けた計画が進められております。町議会といたしましても、町と一致協力してできる限り早く、文化・芸術活動の場の確保に努めてまいり所存であります。

このような中、町農産物などを利用した加工品づくりに取り組み、現在7品目ほどが商品となり、町内外で販売されております。

今後さらに商品が増えることにより、町の活性化にもつながるものと期待するところであります。

一方では、地方自治体における施策や事業等の自己決定権、自己責任の拡大に伴い、議会の意思決定及びチェック機能としての責任や役割



茨城町長
小林 宣夫

平成二十五年町長新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで希望も新たに輝かしい平成25年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、昨年一年、皆様の温かいご支援とご協力のもと、町政全般にわたりまして諸事業を順調に推進できましたことに、心からお礼申し上げます。

新春を迎え、町民の皆様から寄せられました期待と信頼にお応えするため、改めて誠心誠意取り組み決意を新たにしたいところでございます。

さて、昨年は東日本大震災からの「復興元年」という位置づけのもと、地元業界や水戸市にあるFM放送局など、様々な業種の民間企業・団体や、他町村との災害協定の締結。震災で被災した公共施設の復旧・改築工事などを実行し、災害に強いまちづくりを進めてまいりました。

また、「茨城町に住んで良かった」といえるよう茨城町の資源を生かした魅力あるまちづくりを実現するため、「人づくり教育の推進」「農業の振興と産業の活性化」「保健福祉政策の充実」「環境対策、生活インフラ整備」「行政改革の推進による信頼されるまちづくり」の5つを基本施策として、町政運営に取り組みでまいりました。

お陰様で、かねてより進めてまいりました小中学校の再編計画では、適正規模・適正配置検討委員会において、新中学校の名称が「青葉中学校」と決まり、9月にスタートした新校舎の建築も順調に進んでおります。

また、ひぬまあじさいまつり、潤沼環境フェスティバル・しじみフェスタの合同開催、そして2012いばらきまつりなどのイベントには、沢山の方にご参加いただきまして大いに賑わい、町の活性化に繋がったところでもあります。これも町民の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

一方、地方を取り巻く状況は、少子高齢化などによる社会保障費の増加、震災や不況に伴う税収の落ち込みなど、たいへん厳しい状況に置かれております。

しかし、茨城町においては、こういう時にこそ、町民の英知を結集し、独自の資源や潜在能力を生かした個性的で持続力のあるまちづくりをまい進していきたいと考えております。

どうぞ本年も皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が町民の皆様にとりまして素晴らしい一年になりますことを心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

が、これまで以上に大きくなってきております。

今後も、私たち議員は、町民の皆様への思いを率直かつ謙虚に受け止め、議会の果たすべき役割と責任を持つとともに、国政の動向を注視しながら、従来のチェック機能のみでなく、自治体の決定者、監視者としての機能を高めてまいります。

さらに町民からの厚い信頼と期待に応える施策の提言を行うなど茨城町の発展のため、議会一丸となって、安全・安心で活力あるまちづくりに全力を傾注する所存であります。

結びに、今後とも町議会に対しまして一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、議会を代表しての新年の挨拶いたします。



若者に地域コミュニティに参加してもらおう！①

～常磐大学砂金ゼミナール

まちづくり企画室～

茨城町では、地域課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的に、常磐大学と官学連携協定を締結しています。
今回、行政課題の一つである「地域コミュニティ」について、常磐大学砂金ゼミナールの3年生より、意見が寄せられましたので掲載いたします。



私たち常磐大学砂金(いさぎ)ゼミナールは、コミュニティ振興学部で、まちづくりや地域振興について研究しています。

昨年の東日本大震災を機に、地域コミュニティの「絆」があらためて見直されています。しかし、これからの地域を担うべき若者たちの多く

は、地域コミュニティを倦厭する傾向があると言われています。そこで私たちは、若者たちがもっと地域コミュニティに参加するための方策を、3回に分けて考えてみたいと思います。

若者が地域コミュニティに参加しない理由とは

最近の若者たちは、地域コミュニティに参加しなくなっていると言われています。私自身も最近の若者の一人として、その通りだと思います。

では、なぜ若者は地域コミュニティに参加しようとしないのでしょうか。私はこの問題について、「地域コミュニティの現状」と「若者が地域コミュニティに参加しない理由」の2点から考えてみたいと思います。

まず、地域コミュニティの現状についてですが、現在の日本は少子高齢化社会だと言われているように、若者の数自体も昔と比べて減少しています。そのことは茨城県も例外ではなく、2012年1月31日付の『読売新聞』では「2012年1月1日現在の県内推計人口減少数は昨年同時点より、1万4,444人減の295万4,126人となり、8年連続で減少し、記録が残る1965年

以降、最多となった」と報道されています。つまり、このままでは地域コミュニティの存続は困難であるといえます。

次に、若者が地域コミュニティに参加しない理由はなんでしょうか。これは自分一人で考えていても答えが出なかつたので、同年代の友人たちに聞いてみることにしました。それによると、若者が地域コミュニティに参加しない理由は大きく4種類に分かれました。その内容とは「いづどんな活動をしていくかわからない」「地域コミュニティの活動に興味がない」「参加することに特にメリットがない」「時間が無い」というものでした。

私はこのことから若者をコミュニティ活動への参加を促進するには、①活動を周知徹底すること、②若者が興味を示すような内容であること、③参加することに何かしらのメリットがあること、④活動を行う時期や時間に留意すること、の4点に注意する必要があると考えます。

(皆藤篤)

ICTを活用してのきっかけづくり

内閣府の『国民生活白書』によると、若者がコミュニティに参加しな

い理由として、「参加するきっかけが得られない」「身近に団体や活動内容に関する情報がない」など、参加へのハードルの高さが指摘されています。逆に、コミュニティに参加するきっかけとしては、「友人や親に誘われた・勧められた」というものが多く、自主的な参加は少ないのが現状となっています。つまり、そのコミュニティ活動に関する情報の少なさと、人的な繋がりを含むきっかけが不足していることが、若者の地域コミュニティ参加の高い壁になっていると考えられます。

そこで、私が提案するのは、若者が日常的に情報収集等のツールとして利用しているICT(情報通信技術)を活用して、若者のコミュニティ参加のハードルを下げようということです。

このICTの代表例として挙げられるのが、mixiやFacebookなどインターネットを活用したSNS(ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス)です。SNSは、いつでもどこからでもリアルタイムで気軽に参加できるというメリットがあり、特に携帯電話からも参加できるのは、普段から携帯電話を頻繁に利用する若者にとって、コミュニティ

参加の足掛かりとして有効だと思えます。

2004年12月には熊本県八代市で日本初の地域SNS「ごろっとやっちょろ」が登場し、サイトのSNS化によりアクセス数は飛躍的に伸びていきました。現在は500以上の地域SNSが存在し、それは年々拡大傾向にあります。

これからの時代はICTを活用したコミュニケーションが必要となってくると同時に、若者がそれを望んでいる面もあるように思います。地域SNSに参加していれば、地域コミュニティの情報を得ることが容易になります。地域SNSで交流を広めれば、人的な繋がりが生まれます。それらは今まで不足していた「若者のコミュニティ参加のきっかけ」となるのではないのでしょうか。

(佐藤絳平)

「コミュニティに参加する若者に特典を

若者がコミュニティに参加しない主な原因は「コミュニティに関心が持たない」からだと思えます。残念ながら、コミュニティを通じて地域の発展のために貢献しようと考えている若者はごく少数しかいないのではないのでしょうか。

私は若者のコミュニティ参加を促すためには、若者が喜ぶ何らかの特典を与えるなどの方策が必要だと考えます。その方策のひとつとして、地域通貨を用いて若者のコミュニティ参加を実現した、東京都渋谷区の「アースデイマナー」をご紹介します。

アースデイマナーは、若者に街の美化などの社会貢献活動や、ボランティアに興味を持ってもらうために始められた、地域通貨の取り組みです。これは街の美化などの社会貢献活動、ボランティアなどに協力した対価として贈られます。アースデイマナーはチケットの形のほか、パソコンや携帯電話などを通じてネット上の口座に貯めることも可能です。

アースデイマナーは貯めた額に応じて、渋谷周辺のお店などで割引やプレゼントなど、様々な特典が受けられるという仕組みになっています。またこの取り組みと連動して、渋谷区では月に一度、区内の代々木公園で開かれる農業生産者による青空市場「アースデイマーケット」が開催されています。これには東京近郊の生産者など60以上の店が集まり、有機野菜や加工物などが販売され、現金だけでなくアースデイマナーでも購入することができます。また出店料は1店舗8,000円です。

【問合せ先】

茨城町まちづくり推進課
☎240-7126
FAX 029-292-6748
またはメールにて。(茨城町ホームページTOPメールフォームから)

内容に関するご意見・ご要望は、まちづくり推進課を通して常磐大学にもお伝えいたします。

(竹田祥悟)

確定申告について

申告会場について

- ▼開設期間 2月8日(金)～3月15日(金) ※土日祝日を除く。ただし、2月24日と3月3日の日曜は実施します。
- ▼受付時間 午前8時30分～午後4時(混雑時には受付終了時間を早める場合があります。)
- ▼場所 ショッピングセンター m i m o 4階(水戸市南町2-4-52) ▼その他 平成24年分の所得税の確定申告の相談及び申告書の受付は2月18日(月)から3月15日(金)まで。還付申告は2月15日以前でも行えます。

申告会場地図



雑損控除申告相談会の開催について
震災により、住宅や家財などに損害を受けた方は、「所得税法」に定める雑損控除を適用することにより、所得税を軽減することができま

す。
水戸税務署では、震災により被害を受けられた皆さまに対する申告相談会を、次の通り開催いたします。
▼日程 2月8日(金)、12日(火)、13日(水)
▼受付時間 午前8時30分～午後4時(混雑状況により早まる場合あり)
▼会場 ショッピングセンター m i m o 4階(水戸市南町2-4-52)
※水戸税務署ではこの日程以外にも、事前に相談日時を予約した上で、個別の申告相談を受け付けています。

・対象となる方
《1》今までに東日本大震災に係る雑損控除を申告されていない方
《2》平成22年分又は23年分で雑損控除を申告された方で、次のいずれかに該当する方
(1)被災資産に対して平成24年中に修繕(再修繕・追加工事を含みます。)を行い、その支払った修繕費用(平成23年中に支払った修繕費用との合計額)が申告している損失額を上回る方
(2)平成22年分又は23年分の申告において、控除しきれなかった雑損失の金額がある方(雑損失の繰越

控除の申告をされる方)
※内容により雑損控除の適用が受けられない場合もありますので、あらかじめご了承ください。ご自身が対象となるか分からない方は水戸税務署までお問い合わせください。

・手続きに必要な書類
【上記《1》に該当する方】
①被害を受けた資産の、取得時期、取得価額の分かるもの(建物の請負契約書等)
②被害を受けた家屋の取得価額が分からない場合は、その面積が分かるもの(固定資産税通知書等)
③被害を受けた資産の取壊し費用、除去費用、修繕費用などの分かるもの(請求書及び領収書等)
④被害を受けた資産に対して支払を受ける保険金等の金額が分かるもの(保険金の支払通知書等)
⑤損害状況の分かるもの(市町村から「り災証明書」の交付を受けている場合には、り災証明書)
⑥還付金を受けられる場合の振込先金融機関名、支店名及び口座番号の分かるもの(申告される方名義の通帳等)
⑦平成23年分及び平成24年分の所得金額や所得控除額の分かるもの(源泉徴収票や社会保険料控除証明書など) ※既に申告されている方は、平成23年分の確定申告書の控え
⑧ 印鑑

【上記《2》に該当する方】
①雑損控除を申告した年分(平成22

年分又は23年分)の確定申告書及び雑損控除計算明細書の控え(雑損控除の適用を更正の請求書により受けている方は、その控え又は税務署から送付された更正決定通知書及び雑損控除計算明細書の控え)
②前述【上記《1》に該当する方】の③、④及び⑥の書類(平成24年中に修繕を行わなかった方は、上記③及び④は必要ありません。)
③ 平成24年分の所得金額や所得控除額の分かるもの(源泉徴収票や社会保険料控除証明書など)
④ 印鑑

公的年金を受給されている方へ

平成23年分以後の各年分において、公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下であり、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告は必要ありません。(ただし、住民税の申告は必要な場合があります。)

【問合せ先】
水戸税務署
☎029(231)4211(代表)
※自動音声案内で案内しています。所得税、消費税及び贈与税等の確定申告に関するご相談は「0」を、一般の税金に関するお問い合わせは「2」を選択してください。(平成25年1月4日から)

茨城町役場での申告について

- ▼期間 平成25年2月18日(月)～3月15日(金) ▼時間 午前8時45分～午後4時 ▼会場 茨城町役場2階大会議室

《注意》

◎青色申告、贈与税、消費税の申告受付は役場ではできません。また、分離課税申告(土地・建物・株式等の譲渡所得、上場株式等の配当所得、先物取引に係る雑所得等)、新規で住宅借入金等特別控除(住宅ローン控除)や住宅関連の特別控除を受ける方など、高度な判断を要する確定申告は水戸税務署申告会場での申告をお願いします。
◎茨城町役場申告相談会場では税務署受付印の押印はできません。

◇上場株式等の配当及び譲渡所得等にかかる軽減税率の延長について

平成24年中に支払いを受ける上場株式等の配当所得や譲渡所得にかかる税率は平成25年12月31日まで税率10%(所得税7%、町・県民税3%)となります。

◇東日本大震災による雑損控除について

東日本大震災により住宅等の資産に損害を受けた方は、住民税申告、又は確定申告において雑損控除の申告することにより、減税できる場合があります。詳細については、前ページをご覧ください。水戸税務署又は町税務課までお問合せください。

町民税・県民税申告、確定申告について

◇生命保険料控除の改組について

①平成24年1月1日以後に締結した保険契約等に関して、一般生命保険料控除・個人年金保険料控除の他に介護保障又は医療保障を内容とする主契約に係る支払保険料について、介護医療保険料控除が設けられました。
②控除の適用限度額はそれぞれ28,000円、合計適用限度額は70,000円とされました。

○平成24年1月1日以後に締結した保険契約等(新契約)控除額計算

年間の支払保険料等	控除額
12,000円以下	支払保険料全額
12,000円越 32,000円以下	支払保険料×1/2 + 6,000円
32,000円越 56,000円以下	支払保険料×1/4 + 14,000円
56,000円越	一律 28,000円

○平成23年12月31日以前に締結した保険契約等(旧契約)控除額計算

年間の支払保険料等	控除額
15,000円以下	支払保険料全額
15,000円越 40,000円以下	支払保険料×1/2 + 7,500円
40,000円越 70,000円以下	支払保険料×1/4 + 17,500円
70,000円越	一律 35,000円

○控除額限度

平成24年1月1日以後の契約(新契約)	平成23年12月31日以前の契約(旧契約)
一般生命保険料控除 28,000円	一般生命保険料控除 35,000円
介護医療保険料控除 28,000円	
個人年金保険料控除 28,000円	個人年金保険料控除 35,000円
合計適用限度額は70,000円	

◇農業所得について

農業所得のある方は、収入金額(売上げ)から必要経費を差し引いて申告する収支計算による申告になります。自家用もしくは贈答用として収穫されている方も、収支計算による申告になりますので、十分ご注意ください。

◎収支計算とは?

収支計算をするには、出荷伝票や領収書を集計し、その年の収入金額から必要経費を差し引いて所得を計算する方法になります。伝票の紛失や集計の漏れを避けるためにも、帳簿などへ記載するようにしてください。収支計算をすることで、自分の経営状態の把握がし易くなります。

◎青色申告をする

青色申告をすると、青色申告特別控除や青色事業専従者給与などの特典がありますので、お勧めします。

◎申告の準備とお願い

申告には、出荷伝票などの収入金額がわかる書類と、領収書などの支払金額(必要経費)がわかる書類が必要になります。また、これらをまとめて1年間の収入・支出を収支計算書に記載する必要がありますので、帳簿等をお持ちください。申告時間の短縮と申告会場の混雑解消のため、よろしくお願ひします。

【問合せ先】 税務課賦課税制グループ

☎(240)7114

長岡幼稚園
 1日(金) 誕生会・豆まき
 4日(月) 親子ふれあいタイム
 6日(水) うたつておどろろ
 13日(水) 読み聞かせ(幼稚園職員)
 19日(火) 親子ふれあいタイム
 22日(金) なかよくあそぼう
 26日(火) つくってあそぼう(小麦粉粘土)
【問合せ先】 ☎(292) 4019

沼前幼稚園
 1日(金) 節分集会
 5日(火) なかよしひろば
 8日(金) 読み聞かせ(お話の会(しらゆきひめによる))
 14日(木) リズムでルンルン♪
 20日(水) なかよしひろば(誕生会)
 26日(火) わくわくりサイクル(ひな人形)：牛乳パック1リットル1本、折り紙、ヤクルトの空容器2本持参
【問合せ先】 ☎(293) 9209

さくら保育園
 4日(月) 雪だるまを作ろう(製作)
 7日(木) 親子ふれあいあそび
 18日(月) 戸外遊び!
 21日(木) 歌をうたおう♪
 25日(月) 冬をみつげよう
 「氷に触れる」☆
【問合せ先】 ☎(219) 0007

飯沼保育園
 1日(金) 豆まき会(要予約)
 6日(水) 制作【ハンバーグステーキ】
 レストラン(っこ)
 8日(金) 制作【折り紙はり絵】
 13日(水) 体操【トランポリン・マット】
 15日(金) エプロンシアター
 20日(水) 各クラスでの体験保育(要予約)
 21日(木) 誕生会(要予約)
 22日(金) 制作【お面】劇(っこ)
 27日(水) 制作【ひな人形】
 ※要予約の活動は、豆まき会は1月28日～31日まで、その他は2月1日～8日の午前10時～16時で受け付け。
【問合せ先】 ☎(292) 6868

いばらぎ幼稚園・いばらぎ中央保育園
 1日(金) 全身のこりをストレッチ
 でやわらげよう!
 5日(火) もうすぐ春だよ!
 8日(金) 全身のこりをストレッチ
 でやわらげよう!
 12日(火) リズムで遊ぼう☆(楽器遊び)
 15日(金) 全身のこりをストレッチ
 でやわらげよう!
 19日(火) つくって遊ぼう☆(ひな人形)
 22日(金) 全身のこりをストレッチ
 でやわらげよう!
 26日(火) いっぱい身体を動かそう!
【問合せ先】 ☎幼稚園(292) 0162
 保育園(292) 1207

「子育てボランティア」説明会のご案内

子育て支援センターでは、少しでも安心して「子育て・子育て」ができる環境を整えることを目的に、「子育てボランティア」の皆さまにご協力をいただいております。今回は、「子育てボランティア」の活動を皆さまに知っていただくため、その説明会を開催いたします。

子育て支援センター事業における「子育てボランティア」は、子育て親子を対象とした事業に参加していただくことで、親子と話をしながら活動を一緒に楽しみ、参加者の援助をしていただいております。また、絵本の読み聞かせや手遊びなど、子育てボランティアとしての参加の仕方は様々です。

- ◇日時 平成25年2月21日(木) 午後1時30分～
- ◇場所 茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」内 会議室1
- ◇内容 子育てボランティアの参画状況について
- ◇対象 「子育て親子」と関わり支援をしたい・これまでの子育て経験を生かして、安心して子育てできる環境をつくることに関心がある方
- ◇申込期限 平成25年2月8日(金) まで
- ◇申込及び問合せ先 茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」内子育て支援センター ☎(292) 0980

☆子育て親の感想☆

・弟を連れての参加でしたが、ボランティアさんに抱っこしてもらいながら遊んでいただいたおかげで、いつもは我慢させている上の子といっぱい遊べて助かりました。
 ・ボランティアさんから声をかけて頂き、子育てについて知らないことを教えてもらい、一緒に楽しく過ごすことができました。

☆子育てボランティアの感想☆

・子どもが徐々に慣れて「手をつないでくれる?」と言ったら手をつないでくれ、活動中、一緒に楽しく過ごすことができました。
 ・あとで会ったとき、顔を覚えていたらしく、子どもから「こんにちは」と声をかけてくれ嬉しかったです。

子育て支援センター 2月 ～遊びにおいでよ～

町子育て支援センターでは、子育て親子に寄り添いながら親子でふれあい、子どもとの絆づくりを大切に活動を行なっています。

★ 遊戯室「まんまる一む」開放 ★

- (日曜日、祝日を除き午前9時から午後5時まで)
- ・年末年始は12月28日(金)から1月4日(金)まで休館となります。
- ・2月1日(金)は、午前中子育てセミナー「スマイル講座」の保育として使用する為、遊戯室の利用は午後1時からとなります。

☆ 活動予定 ☆

★ 子育て相談・定期相談日 ★

- ・日時：2/4(月)、18(月) 午前9時30分～正午
- ・受付場所：子育て支援センター 事務室
- ※町保健センター等の関係機関と連携しています。

★ 読み聞かせ ★ — 参加自由 —

- ・日時：2/6(水)、20(水) 午前10時45分～午前11時
- ・場所：遊戯室「まんまる一む」
- ※子育てボランティアによる読み聞かせを予定しています。

★ 「ミニ・セミナー」 ★ —参加自由—

- ・実施時間：10分程度 ・場所：遊戯室「まんまる一む」
- ※親子でふれあって遊んだり、歌をうたったり、楽しい時間を過ごしましょう。

◀ 子育てセミナー ▶ 町内の未就学児とその保護者対象(要予約 *定員になり次第締め切ります。)

『スマイル講座—保育付—』お手玉を作ろう 定員 8組

- ボランティアの方がお手玉作りを教えてください。
- 日時：2月1日(金) 午前10時30分～午前11時30分
- 場所：【講座】会議室1、【保育】遊戯室「まんまる一む」
- 持ち物：(1個分) 布1枚(10cm×15cm) 針・糸・ハサミ・中に入れるもの(例：大きめのビーズ、あずき、じゅずだまなどをひと握り)
- 備考：保育付きとなります。予約受付時に保育申込書をお渡しします。用意する物をご確認ください。
- ※予約開始は1月11日(金)からです。子育て支援センターまでご連絡ください。



— 活動にはボランティアの皆さまのご協力を頂いておりますので、小さいお子さん、兄弟姉妹のいるご家庭でも安心して参加できます。どうぞお気軽にご参加ください。 —

◀ 情報提供 ▶ ゆうゆう館エントランスホールにおいて、町内各幼児施設・関係各機関の情報を提供しています。

詳細はお問合せください。

【問合せ先】 保健福祉部こども課 子育て支援センター ☎029-291-0980 (直通)
 『茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」内』

11/15 (木) 手を取り合って50年
茨城町金婚式開催

結婚以来50年、二人で励ましあい、幾多の困難を乗り越えたご夫婦をみんなでお祝いし、健康長寿を願うため、茨城町が主催する金婚式が開催されました。

出席した34組のご夫婦に一組ずつ褒状と記念品を手渡した小林町長は、「50年、二人とも健康に暮らすことは素晴らしいこと。今ある町の発展は、皆さまの長年のご活躍の結果。感謝いたします。」と挨拶しました。

出席者代表で謝辞にたった岡山一二さん・亮子さんご夫妻は「金婚は人生の折り返し。手を携えてスタートします。」と述べられました。また、ご夫妻に夫婦円満の秘訣を尋ねたところ、「思いやりが大事、お互いに感謝の気持ちを持つこと」と教えてくれました。



10/27 (土) 川根小学校・駒場小学校
林業関係各種コンクールで受賞

10月27日、那珂市中央公民館において開催された「グリーンフェスティバル2012（主催：茨城県等）」において、川根小学校と駒場小学校が林業関係各種コンクールで表彰されました。

川根小学校は緑の少年団コンクールで優良賞を受賞。飯沼城跡の「ゆかりの森」において、地域の方々と同伐、枝はらいなど森の整備、落葉さらいなどの清掃活動を実施するなど、緑を守り、緑を育てる活動をしたことが評価されました。活動に参加した児童は「森の清掃などを通して、自然の大切さをみんなで共有できた」と話していました。



また、駒場小学校は、多くの桜や樹齢100年をこえるカエデなど、緑に囲まれた学校生活の中で、地域の方々と協力して花壇の整備活動をしたことなどにより、学校関係緑化コンクールにおいて入選しました。



11/25 (日) リトルリーグ野球大会
茨城町の子どもたちが大活躍

茨城町の子どもたちが活動している硬式野球チームの東茨城リトルリーグが、「第36回産経新聞社旗争奪リトルリーグ野球大会（主催：産経新聞社水戸支局など）」で見事初優勝を飾りました。

ひたちなか市の那珂川グラウンドで行われた決勝戦の相手は竜ヶ崎リーグ。東茨城リーグは延長戦の末、1対0で激闘を制しました。

また、東茨城リーグは10月27日（土）に行われたティーボール東関東連盟大会（香取市長杯）においても3位に入る健闘を見せました。

東茨城リーグの子どもたちは、暖冷工業（株）グラウンド（長岡地内）で毎週土日と祝日に汗を流しています。

※ティーボールとは、野球やソフトボールに似ていますが投手がおらず、打者はバッティングティーの上に置かれたボールを打つ球技です。



11/1 (木) JA水戸「よい食プロジェクト」
学校給食へ新米寄贈

お米の消費拡大・食育・地産地消の促進のため、子どもたちに地元のお米を食べてもらおうとJA水戸から300kgの新米コシヒカリが茨城町に寄贈されました。

1日に行われた寄贈式において、JA水戸の八木岡組合長・井坂専務から米俵を手渡された小林町長は、「子どもたちの食育の一環として、地元産の食材を食べることは大切なこと。ありがたく給食に使わせていただきます。」と謝辞を述べました。

寄贈された新米は、11月14日に卵焼きやキンピラなどと一緒給食で提供され、子どもたちは、みんなでおいしくいただきました。



11/29 (木) ねんりんピック宮城・仙台2012
平沢さんご夫妻メダルを報告

平成24年10月13日（土）から10月16日（火）まで開催された「ねんりんピック宮城・仙台2012」において、茨城県代表として参加し、ダンススポーツの2種目（チャチャチャ・ルンバ）で見事金メダルを獲得した平沢一夫さん・恵子さんご夫妻（木部）が、その報告に茨城町役場を訪れました。

平沢さんご夫妻はダンス歴25年で、町の中央公民館で行われているダンスのクラブ活動の講師なども行っています。



11/28 (水) 茨城町食生活改善推進員が
新たに19名誕生

町健康増進課において9月上旬から約2か月間にわたり、茨城町食生活改善推進員の養成講習会が行われました。全8回の講義と調理実習を行い、「栄養・食生活」について学んだ19名の受講者は、最終日の11月28日（水）に矢口副町長より修了証書を授与されました。

現代の日本は、時代の変化とともに生活様式の多様化や家族形態のあり方が食生活に少なからず影響をもたらしていると考えられています。そのため、メタボ予防や生活習慣の見直し、食育の推進などが重要視されており、地域に根ざした食生活改善を推進していく人材が必要とされています。

これからは「茨城町食生活改善推進員」の一員として活動を開始し、茨城町の健康づくりの重要な担い手となっていきます。

今後もさらなる茨城町食生活改善推進員の活躍が期待されます。



11/14 (水) 町たばこ売上促進協議会女性部
酒沼周辺でゴミ拾い実施

茨城町たばこ売上促進協議会女性部（塩畑富枝部長）は11月14日、酒沼自然公園周辺でゴミ拾いなどの環境美化活動を行いました。この活動は平成6年から毎年秋に行っているもので、今回は16人が参加。酒沼自然公園を起点に県道沿いの空き缶やタイヤなどのごみを拾い45リットルのごみ袋6個分になりました。

塩畑部長は「始めたころに比べるとたばこのポイ捨ては減りましたが、全体のごみの量は減ってない感じがします。会員同士の交流にもなっているので、活動は続けていきたいですね」と話しました。



11/9 (金) 「花咲かせプロジェクト」
川根小学校で鬼太鼓座公演

東日本大震災で被災した子どもたちにアートとの出会いをもたらし、東北6県と茨城県で様々なステージが実施されている「花咲かせプロジェクト」。

そのプロジェクトの一環として、川根小学校において和太鼓集団「鬼太鼓座」のステージが同小体育館で行われました。

この日は川根小学校の児童のほか、飯沼保育園や桜丘中学校、近隣の方々など約500人が勇壮な和太鼓の演奏に魅了されました。演奏を聴いた子どもたちは、「日本の文化に触れることができいい思い出になりました。」と感想を述べていました。



文芸

短歌

○初詣で心を込めて手を打てば鹿島の杜に木霊が響く
清水 操(馬渡)

●生甲斐にこの短歌の道幾年を続け来たれり牛の歩みに
鶴町あい子(常井)

●絶景だ西の屏風の筑波嶺が凛々しく座るはつ春の朝
高田 宗雄(大戸)

冬晴れに亡き母真似て大根の切干し作る穏やかな午後
田口すい子(南川又)

金婚を迎えし母さん損な年代姑と嫁に気遣う一生
岡山 一二(上石崎)

「危ないぞ」と谷津の向こうに怒鳴るのは杉の間引きす源さんの声
木野内清太郎(神宿)

甲高く汽笛鳴らして赤色の一両電車が復興地をゆく
河野 久子(昭和)

熟れ柿を通り過ぎて鴨の群梅もどきに集う声かしましく
野原 きよ(昭和)

満天星の色鮮やかに季節を告げ我が家の庭が赤色に染む
萩谷彰一郎(長岡)

平成25年の新春おめでとございませう。今年も良い年でありますよう祈念いたします。
〔評〕清水さん―新年を迎え産土の神に心を込めての初詣で、境内の浄らかな様子や、かしわ手の音が聞こえてくるような作風、鶴町さん―生甲斐として18年、作者は牛の歩みと謙遜している。高田さん―筑波山を屏風として取り、がっしりと凛々しく、はつ春の朝にゆるぎなく、新年にふさわしく詠まれている。

○一度だけ亡父と遊びし羽子をつく
田口すい子(南川又)

●巡礼の傘に零るや金木犀
吐 泉(神宿)

●白菜の締め確かめ採る翁
清水 操(馬渡)

きょう在ると思うこの幸柚子湯かな
野原 きよ(昭和)

冬すすき人傷つけて枯れきれず
中島三千代(桜の郷)

幼日に返る道辺の赤のまま
鶴町あい子(常井)

ひこばえに今年占う初明り
岡山 一二(上石崎)

寒空を突き刺す月の明りかな
浦井 正子(宮崎第四)

童心に返る夜長の同窓会
高田 宗雄(大戸)

小春日や猫のじゃれつくうれしさよ
西連寺元子(南川又)

〔評〕田口さん―誰もが思い当てる内容。殊に女性なればこそ、吐泉さん―相変わらず寸材の多様さが見える。清水さん―見柔らかさうに見える白菜も触ってみると固いものだ。その締めを確かめて採取している「老人。おしい漬物や鍋物のために鶴町さん―「道辺」は「道端」のこと。道端の赤のままを見て幼時を回想している。西連寺さん―小春日は陰暦十月の頃の晴れた暖かい日。小春日和

すこやかニュース

健康増進課(保健センター)
内線 420~423

ノロウイルスによる感染症を予防しましょう

今冬もノロウイルスによる胃腸炎や食中毒が多く発生しています。ノロウイルスは感染力が非常に強く、わずかなウイルスの量で多くの人に感染しますので、大規模な集団感染につながります。予防対策を徹底しましょう。

【主な感染源】

- ・ウイルスに汚染された水や食品を飲食した場合
- ・感染した人の便や吐物に触れた手指を介してノロウイルスが口に入った場合
- ・乾燥した便や吐物から空中に浮遊したノロウイルス粒子を吸い込んだ場合

【症状】

吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱
通常1〜2日で症状はおさまり、後遺症もなく治ります。抵抗力の弱い高齢者や乳幼児の場合、重症化した嘔吐物をのどに詰まらせたり、下痢によって脱水症状がひどくなるなどの危険があり、油断は禁物です。

【治療】

特效薬はないので症状にあわせて対処します。

脱水症を防ぐために水分をしっかりととりましょう。脱水症状を起こした場合は病院で適切な処置が必要です。

【予防方法】

- ・食事の前やトイレの後などは必ず石鹸で手を洗いましょう
- ・調理器具や布巾などは熱湯や次亜塩素酸ナトリウムなどで殺菌消毒しましょう
- ・食品を加熱する際は、食品の中央まで火が通るように十分に加熱しましょう
- ・下痢をしているときは、調理に從事しないようにしましょう

健康増進課(保健センター)1月の予定			
日	曜日	事業名	受付時間
8	火	1歳6か月児健康診査	13:00~13:30
9	水	健康相談	9:00~11:30
11	金	乳児健康診査	13:00~13:30
16	水	大腸がん検体回収	8:30~10:00
21	月	胃がん検診(22日も実施)	7:00~10:30
27	日	特定健康診査(28日、29日も実施)	9:00~11:30 13:00~14:00
30	水	骨粗しょう症予防教室	9:15~9:30

奥様レポート

No.249

次代を担う子どもたちのために!

上野合小学校付近の通学路ばかりではないと思いますが、大型トレーラーの通る通学道路ではまさに命がけの通学と言っても過言ではないと思います。そんな道路を緑の服を着た、ブライトリーダーの方々に見守られて通う子どもたち。そんな子どもたちを毎朝見かける中、今年は黄色のランドセルカバーに包まれたランドセルを背負って歩く可愛らしい子ども姿がなんと少ないことか。上野合小学校の今年度の一年生は十四名とのことでした。

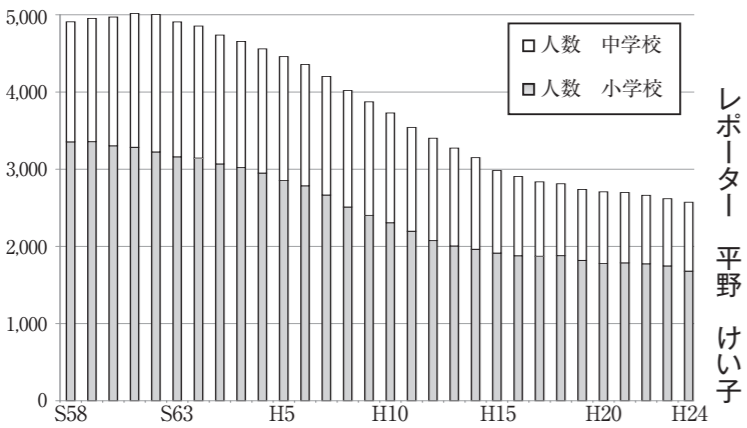
学校が平成27年に統合。さらに平成28年には石崎・広浦・長岡第二小学校が統合。長岡小学校と大戸小学校は現状維持との計画が進められています。学校跡地の利用としては、全ての屋内運動場の耐震化も完了しているとのことなので、災害時の避難場所としてはもちろんのこと、茨城町の次代を担う子どもたちのために、人材育成のために、様々な体験を通して使っていくのもいいものですね。

レポーター 平野 けい子

現在、茨城町小中学校再編計画は、「より良い教育環境の整備を!」「魅力と活力のある学校づくりを!」と進められています。

皆さんもご存知とは思いますが、桜丘中学校、梅香中学校が平成26年に統合されます。また、小学校では川根・上野合・沼前・駒場小

茨城町における児童・生徒数の推移



2月11日は茨城町の誕生日です!

昭和30年(1955年)2月11日、東茨城郡長岡村(同日町政移行)・川根村・上野合村・鹿島郡沼前村が合併し、茨城町が誕生。さらに昭和33年3月に東茨城郡石崎村を編入し、現在の茨城町が形作られました。町では、2月11日を「茨城町民の日」と定め、下記の通り記念式典を開催いたします。皆さまのご来場をお待ちしております。

◇日時：平成25年2月11日(月・祝) 午前9時~
◇場所：茨城町中央公民館大ホール

- ◇内容
 - ☆オーブニングセレモニー(飯沼保育園児による演奏)
 - ☆表彰式
 - ☆少年の主張
梅香中学校二年 松本小奈美
「二人じゃないから」
 - ☆人づくり講演会
講師 田部井淳子氏(登山家)
演題「エプロンはずして夢の山」
 - ☆試食会 無農薬野菜を使った地産地消のおもてなし料理
 - ☆パネル展
「里山に育むいきものたち」

【問合せ先】まちづくり推進課 ☎240-7126

平成25・26年度入札参加資格定期受付のお知らせ

- 申請区分
建設工事、建設コンサルタント、物品役務
- 受付期間
平成25年2月1日(金)~2月28日(木)
(土日、祝日を除く)

詳しくは、町ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

【問合せ先】
財政課 契約管財グループ
☎240-7123(直通)

1月13日(日)は任期満了に伴う農業委員会委員一般選挙の投票日です

投票できる人 平成24年3月31日確定の農業委員会委員選挙人名簿に登録されている人
告示日 平成25年1月8日(火)
投票日時 平成25年1月13日(日)午前7時から午後6時まで
期日前投票 投票日に、投票に行けない方は期日前投票や不在者投票ができます。
・期間 平成25年1月9日(水)から12日(土)まで
・時間 午前8時30分から午後8時まで
・場所 茨城町役場1階玄関ロビー「期日前投票所」

投票所 次のとおり農業委員会委員一般選挙に限り、投票区を16箇所に統合しております。

投票区	投票所施設名	区 域
長岡第一	町立長岡幼稚園	長岡区、長岡第二区、矢頭東区、矢頭中丸原区、植農区、谷田部区、前田第一区、前田東区、
小 鶴	小鶴公民館	小鶴区、三島区、越安区
大 戸	桜の郷コミュニティセンター	下郷区、上郷区、大畑区、馬渡区、近藤区、常井区、大山原区、瑞穂区、
野 曾	野曾ふるさとコミュニティセンター	蕎麦原区、駒渡区、千勝区、野曾区、野曾後谷区、南栗崎区、南川又区
上 飯 沼	上飯沼新農村集落センター	木部東部区、木部西部区、木部南部区、飯沼区、上飯沼区、上飯沼南部区、下飯沼区
中 央	茨城町役場	下土師新地区、下土師宿区、下土師仲塚区、赤坂区、奥谷区、小堤区
秋 葉	秋葉公民館	秋葉区、神谷区、増山区、坂東区、鳥羽田区、生井沢憲生区、生井沢協栄区、古宿区
小 幡	小幡区民センター	下雨ヶ谷区、上雨ヶ谷区、下座区、小幡区、五里峰区、千貫桜区
駒 場	駒場公民館	南島田区、駒場区、神宿区
海老沢	海老沢ふるさとコミュニティセンター	本郷区、海老沢区、城之内区
宮ヶ崎	宮ヶ崎新農村集落センター	宮ヶ崎区、網掛区
東	香取地区学習等供用施設	宮ヶ崎第四区、宮ヶ崎第五区、宮ヶ崎第六区、宮ヶ崎日進区、昭台区
上石崎	飯塚新農村集落センター	船渡区、東永寺区、飯塚区
新興	新興公民館	中山区、新興区、前原区、金沢区
中石崎	町立石崎小学校	中石崎区、榊原区、宮前区、若宮区
下石崎	町立広浦小学校	長洲区、遠西区、台区、前谷区、後谷区

【問合せ先】 茨城町選挙管理委員会(総務課内) 内線231 ☎240-7125(直通)

土の恵みのお手伝い

農は国の基

thkLh は「篤農家」の皆さまを応援しています。
(篤農) 研究熱心な農家の人

茨城県信用組合
http://www.kenshinbank.co.jp



善意のつもり(順不同・敬称略)

▼善意銀行へ(社会福祉協議会)
○金25,575円(1円玉募金)
●長岡長寿会
○金60,130円(●)
●大畑高年者クラブ
○金11,141円(●)
●若宮高年者クラブ
○金9,017円(●)
●下郷高年者クラブ
○金4,880円(●)
●植農高年者クラブ
○金1,989円(●)
●榊原高年者クラブ
○金5,903円(●)

65歳以上の方へ
食べてイキイキ! 介護予防料理教室

「元気で長生き」をするためには、好き嫌いをなく食べることが大切。毎日のお食事に目を向けてみましょう。
男女問わず、料理の経験がある方もない方もお気軽にご参加ください。おひとりでの参加もお待ちしております。教室でぜひお友達作りをしましょう。

◇日時 平成25年2月25日(月)
午前9時30分~正午(9時15分受付開始)
◇場所 ゆうゆう館2階 栄養指導室
◇参加費 無料
◇持ち物 米1合、エプロン、三角巾
◇申込方法 2月8日(金)までに下記までお申込みください。(定員20名)
【問合せ先】 健康増進課 ☎240-7134

○金14,269円(●)
●桜ヶ丘団地高齢者クラブ
○金6,610円
●茨城町商工会工業部会
部会長石島 裕
○金9,353円
●秋葉ソフトボールチーム
○金5千円●手作りサークル
○金10,560円
●茨城町畜産振興会 養豚部会
○金10,450円●茨城町畜産振興会 肥畜 牛部会
○金45,714円●茨城町社会福祉協議会職員一同
福祉作業所カラムへ
代表 根矢 隆
根矢 甲司

○金1万円●黒澤 幾乃
▼白血病患者支援基金へ
○金31,600円●有有限会社坂場畜産 坂場 端彰
▼石崎地区福祉大会へ
○タオル200枚●読売センター茨城町(前田新聞店) ター茨城町
▼石崎小学校へ
○タオル44枚、雑巾14枚
●若宮高年者クラブ
代表 坂場 正俊
▼明光中学校へ
○ぞうきん154枚
●下郷高年者クラブ
代表 根矢 隆
根矢 甲司

茨城県特定最低賃金改定
茨城県の特定最低賃金が、次の通り改定されました。いずれも平成24年12月31日より効力が発生します。

①鉄鋼業...805円
②はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業...789円
③計量器・測定器・分析機器・試験機・理化学機械器具、医療用機械器具・医療用品、光学機械器具・レンズ、電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具、時計・同部分品製造業...782円
④各種商品小売業...756円
※仕事の内容、年齢などの条件により、茨城県最低賃金(699円)が適用になる場合もあります。

【問合せ先】 茨城労働局賃金室 ☎029(224)6216 または最寄りの労働基準監督署まで

特設無料火権相談所開設

毎日の暮らしの中で起こる様々な火権に関わる困りごとを解決するための無料相談所です。お気軽にお問い合わせください。
相談担当者は火権擁護委員です。秘密は守られます。

◇日時 平成25年2月21日(木)
午前10時~午後3時
◇場所 茨城町総合福祉センターゆうゆう館

【問合せ先】 水戸火権擁護委員協議会・水戸地方事務局 ☎029-227-9919

1月の納税

○固定資産税4期
○町県民税4期(普通徴収分)
○国民健康保険税9期(普通徴収分)
○後期高齢者医療保険料7期(普通徴収分)
※納付期限は1月31日です。
・税金は納期内に納めましょう。
・便利で安全な口座振替を推進しています。

町民の皆さんのご意見をお聞かせください！

「茨城町第5次総合計画後期基本計画」についての住民説明会及びパブリック・コメントを実施します
町では、今後5年間（平成25年度から平成29年度まで）のまちづくりの基本方針を定める「茨城町第5次総合計画後期基本計画」の策定に取り組んでいます。

現在、茨城町総合計画審議会において計画案の審議を行っているところですが、広く町民の皆さんのご意見をうかがい、計画に反映させるため、次のとおり住民説明会とパブリック・コメント（意見公募）手続を実施します。

住民説明会を開催します

「茨城町第5次総合計画後期基本計画（案）」について、下表の日程及び会場にて住民説明会を開催します。多数のご参加をお待ちしています。

住民説明会の日程及び会場等

開催日	会場	地区	時間
1月21日（月）	長岡小学校 体育館	長岡地区	午後7時～午後9時
1月22日（火）	川根小学校 体育館	川根地区	
1月23日（水）	上野合小学校 体育館	上野合地区	
1月28日（月）	沼前小学校 体育館	沼前地区	
1月29日（火）	石崎小学校 体育館	石崎地区	

※どの会場でも参加できます。

パブリック・コメント（意見公募）手続を実施します

「茨城町第5次総合計画後期基本計画（案）」について、パブリック・コメント（意見公募）手続を実施します。多数のご意見をお待ちしています。

※パブリック・コメントとは、町が各種計画等を策定の過程で公表し、よりよい計画としていくため、町民の皆さんからの意見を広く募集するものです。

●「茨城町第5次総合計画後期基本計画（案）」の閲覧方法

- ①町まちづくり推進課で閲覧できます。 ※平日の午前8時30分～午後5時15分
- ②町ホームページで閲覧・ダウンロードできます。

●意見を提出できる人

町内に住所を有する人、町内に事務所・事業所を有する又は勤務する人、町内の学校に在学する人、町税の納税者

●意見の募集期間

1月15日（火）～2月13日（水）

●意見の提出方法及び提出先

町まちづくり推進課に置いてある様式（任意様式も可）に必要事項を記入（氏名、住所、連絡先を必ず明記）し、郵送、FAX、電子メール又は直接持参で町まちづくり推進課まで提出してください。

様式は、町ホームページからもダウンロードできます。

【問い合わせ・提出先】

〒311-3192 茨城町大字小堤1080番地 茨城町総務企画部まちづくり推進課
☎029-240-7126 FAX029-292-6748 メール kikaku@town.ibaraki.ibaraki.jp



「発表会」

くにや はると(6歳)



「発表会」

ぐんじ あおい(5歳)

飯沼保育園

ちびのプラトーン

110番の適正利用にご協力を！

110番は緊急ダイヤルです。相談や問合せの110番が、緊急を要する人命救助や犯人の追跡、交通事故の対応を遅らせてしまうことがあります。

緊急ではない警察へのご相談は、警察相談専用電話や警察署をご利用ください。

- 警察安全総合相談センター ☎ #9110
- 水戸警察署 ☎ 029-233-0110
- 茨城地区交番 ☎ 029-291-0110

▼相談内容 土地・建物及び金銭貸借等の紛争、多重債務に関する事。夫婦関係、相続などに関する紛争など。民事、家事に関する相談全般

【問合せ先】 水戸地方・家庭裁判所内 水戸調停協会 ☎029(224)8270

※事前予約は受け付けておりません。お申込みは当日行ってください。

平成25年度学院生追加募集
茨城県立土浦産業技術専門学院では、機械技術科、情報技術科、コンピュータ制御科（いずれも訓練期間2年）の

情報ひろば

1月号

2013 January

INFORMATION INFORMATION INFORMATION

調停相談会開催のお知らせ

調停は、話し合いで円満な解決を図る手続きです。裁判所の調停委員会のあつせんにより、紛争を話し合いで適切に解決しようという制度で、合意した内容は判決と同様の効力があります。

▼日時 2月3日（日）午前10時～午後4時（受付は午後3時まで）

▼場所 笠間市立笠間公民館（笠間市下郷5140）

各料について、追加募集をいたします。

詳細はお問い合わせを。

▼応募資格 高等学校又は中等教育学校を卒業した者（見込み含む）。もしくはこれと同年以上の学力を有すると認められる者。

▼受付期間 1月28日（月）必着

【問合せ先】 茨城県立土浦産業技術専門学院 ☎029(841)3551



茨城町立図書館 ☎029(240)7131
ホームページ <http://www.lib.t.ibaraki.jp/>
携帯電話 <http://mlib.t.ibaraki.jp/>

ご利用案内 ●はお休み

1月	日	月	火	水	木	金	土
			●	●	●	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			
2月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28			

図 書 1人10冊 2週間 火～金 9:30～18:00
ビデオ・CD 1人3点 2週間 土・日 9:30～17:00

◆おはなし会（毎月第2、4土曜日）
1月12日（午後2時～）、1月26日（午前11時～）
2月9日（午後2時～）、2月23日（午前11時～）

◆絵本となかよし（毎月第2、4木曜日 午前10時30分～）
1月10日、1月24日
2月14日、2月28日
どちらも図書館「おとぎのくに」で開催します。
皆様のご来館をお待ちしています。

駐車料金が安くなりました

1日300円 24時間

●駅まで徒歩2分 ●元西友駐車場跡 ●タカギ書店裏

石岡駐車場 ☎0299-22-2330



里山に育む生きものたち

9 ノキシノブ

(ウラボシ目 ウラボシ科)

学名 *Lepisorus thunbergianus*
(Kaulf.) Ching

写真・文 / 安 昌美

里山とは山里を逆にしたといわれていますが、人間の活動している中の自然、山里に広がっている雑木林や谷津田などを含む場合が多いです。茨城町では、台地にあるコナラやクヌギの雑木林が里山を代表する林でしょう。今月は、身近なところに生育しているノキシノブを紹介しますが、じつは、人間の活動で絶滅が心配される生物が多いのもこの区域なのです。

▼ノキシノブとは

ノキシノブは軒シノブの意味で、藁葺き屋根の軒先などにシノブのように生えているところから名前が付けたのでしよう。以前は古い家の軒先から屋根全体近くにまで群生しているのを見た覚えもありますが、今では滅多

に見られません。最近の新しい家ではノキシノブが着生できるような場所が見あたりません。日常生活でも軒先、軒下、軒端、軒並み、軒をつらねるなどの言葉はあまり使われなくなっているのでは。でも、ノキシノブはいつまでも近くについて欲しいです。

▼ノキシノブの仲間

ノキシノブは多少変化もありますが葉は細長く、先端は細くなり、縁も切れ込みはありません。常緑で、一年中生育が確認できます。裏面の上部には、胞子嚢群が主脈の両側に並んでいます。茨城町ではウメ、シラカシなどの幹、コナラの根もとなどにも着生し、時にはスギの枝にも着生します。また、石垣などにも生えます。北海道南

部にはまれですが、本州、四国、九州の低山地には普通に見られます。ノキシノブ属はアジアの熱帯から温帯に分布し、50種余りがあるそうです。日本では10種ほどとされ、茨城県内ではノキシノブの他にヒメノキシノブ、ミヤマノキシノブ、ホテイシダが知られています。町内ではノキシノブしか見ていません。

▼ノキシノブの生活

地面に直接生えることはほとんどありません。乾燥して水分が不足している時は、葉は少ししおれますが、雨の後は元の姿に戻ります。植物ですから光合成をして生きています。直射光は好みませんが、他の植物に上部を覆われて光が不足しては生活ができなくなり、移動できない植物は本当に大変です。地面に生えていては、背丈が低いので、上部を覆われてしまつて生活ができません。着生という生活をすることで、生き残ったのでしょうか。胞子は地面にも落ちるでしょうし、運の悪い胞子も多いと思います。シダ植物は種子植物とは異なる生殖法をとりますので、程よい湿度や水分のある樹幹や岩に落下しなければ繁殖できません。かたちは単純ですが、染色体数では2倍体、4倍体の他に3倍体もあるそうです、思ったより複雑な種です。

編集・発行 / 茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤 1080 TEL029-292-1111

ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

DATA

茨城町の人口と世帯数 ※カッコ内は前月比です。(住民基本台帳 平成24年12月1日現在)

◆総人口 34,511人(-16) 男 17,229人(±0) 女 17,282人(-16) ◆世帯 12,441戸(-2)

DATA

再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インクを使用しています